



# 教育支援センターだより

1月号 令和5年度 第10号  
令和6年 1月18日発行(通算166号)

花かおり  
緑あふれ  
人輝くまち  
こうのす



- 教育相談事業
- 適応指導教室事業
- 特別支援教育事業
- 研修事業
- 家庭地域連携事業

鴻巣市立教育支援センター  
〒365-0004 鴻巣市関新田1281番地1  
TEL 048-569-3181  
FAX 048-569-1773

この度の能登半島地震により、特にご親戚やお知り合いが北陸方面にお住まいの方々はご心痛の毎日かと思えます。被災者及び関係者の皆様にも、心からお見舞い申し上げます。



## 一人一人に寄り添うこと

臨床心理士 相澤 優美

近年、SNSやTVなど様々なメディアで、発達障がいやHSP※といった心理にまつわる用語を目にすることがとても増えているように感じます。お子さんを育てている方や、教育現場などで様々なお子さんと接するお仕事をしている方にとっては、気になっていたことが気軽に学べる機会となるでしょうし、実際にお子さんの理解や支援に役立てられている方も少なくないと思います。

私自身も、心理士として学術書を読んだり学会で講義を受ける中で、ある一つのケースが取り上げられると、「あの子に似ているな」と自分の関わっているお子さんやご家族を思い浮かべることがあります。しかし、知識は知識として頭に置きつつも、実践に活かす際に気を付けていることがあります。それは、「その子ども自身が困っているか」「本人が苦しんでいるところはどこか」など、個々の実態に応じて考えることです。

「この子には、このような支援が必要」「このような接し方が大切」など、基本的な対処法を十分踏まえる必要はありますが、そのような特性のある全ての子に当てはまる正解というものはないと思います。他のお子さんとはどこか違っていると言われることや、障がいや特性があることのみをもって一括りにはできません。一人一人感じていることや考えていることは異なり、得意なこと、苦手なことも異なります。他の人と異なる個性があること自体は、周りから認められることで自信に繋がることも多いです。

子どもたちの成長を支える私たちの役割は、一人一人に目を向けて、何に困っているのか、どんな環境を希望していて、どんなサポートがあれば自信をもって自己実現へ向かっていけるかを探っていくことだと思います。ただし、よくよく心配した上でよかれと思って行なったことが、お子さん本人にとっては求めていないサポートだった・・・となったら大変ですし、お子さん本人は困っていないように見えたとしても周りがほとんど困り切っている、ということもあるかもしれません。ご家族や学校の先生自身が考えあぐねて疲れてしまい、お子さんのことを見守るエネルギーが足りないと感じる時には、ぜひ教育支援センターへご連絡ください。

一緒にお子さんのことを考える仲間となれたら嬉しいです。

※HSPとは、生まれつき非常に感受性が強く敏感な気質の人のこと。その特性があり、人一倍敏感で傷つきやすい子どもはHSCと呼ばれています。

## もうすぐ1年生

～小学校入学までに身に付けてほしいこと～

埼玉県教育委員会では、幼少期の子育ての目安を示しています。

自主性がめばえます

あいさつや返事、片付け、身近な自然とのふれあい等の細かな内容が、関わりのヒントとともにリストアップされています。

子どもの育ちは一人一人異なり、長い目で見ていくことが大切です。ご心配がありましたら、ぜひ教育支援センターへご相談ください。



## 12月の相談状況 310件

相談内訳	R5. 12月	R5. 11月
相談員等の学校等への訪問	141	105
相談者来所	89	101
電話	80	124
主な相談者別内訳		
小・中教職員	66	48
未就学児	57	40
小学生保護者	53	52
小学生	37	25
年長児保護者	30	78
主な相談内容		
性格・行動	99	73
不登校	82	88
特別支援	48	46
就学	36	71

## シリーズ

## 0歳～15歳までの一貫した教育の推進 さわやか相談室

さわやか相談室が初めて開設されたのは、平成8（1996）年までさかのぼります。埼玉県が独自に、いじめ・不登校対策事業の一環として県内の全公立中学校に設置しました。現在は、相談員の採用と配置、備品等の管理は各市町村が行っています。その概要について、以下Q&A形式で紹介します。

### Q 相談室は、誰が利用できますか？

→設置されている中学校とその学区内の小学校に通う児童生徒及び保護者の方なら、誰でも相談できます。

### Q 相談室のスタッフは？

→各相談室には、さわやか相談員が常駐しています。また、「心の問題の専門家」であるスクールカウンセラーが2週間に1～2日入室し、「家庭と教育・福祉の橋渡し役」となるスクールソーシャルワーカーが随時訪問しています。なお、小学校にもスクールカウンセラーが毎月来校しています。

### Q 相談内容は？

→友人関係や学習、健康、家族に関すること等、子どもの健やかな成長・発達に関することなら、どんなことでもご相談ください。事態の改善に向けて一緒に考え、解決のお手伝いをします。

### Q 誰にも知られず相談できますか？

→さわやか相談室は中学校内の個室ですから、他の人に話を聞かれることはありません。また相談内容の秘密保持や個人情報の取り扱いには、十分配慮します。

### Q 相談室の利用方法は？

→開室時間や利用のルールは、相談室によって多少異なります。各相談室には直通の電話がありますから、事前にご連絡いただくとスムーズにご利用できます。

## 1・2月の行事予定

月	日	曜	行事
1	16	火	Let's教室 3学期始業式
	17・18	水木	県立特支高等部職業学科・分校入学選考
	18	木	まなびの教室 14:00
	23	火	Let's教室 トレーニング(かわさと館)
2	6	火	県立特支高等部入学選考
	13	火	特別支援教育冬季研修会 15:00
	16	金	就学支援委員会 15:00
	20	火	ふるさと館防災訓練
	21・22	水木	県公立高校入学者選抜
	22	木	まなびの教室 14:00

※予定は、都合により変更になる場合があります。

## Let's教室 3学期始業式 1/16(火)



今年度をしめくくる学期のスタートです。健康や生活、学習等の目標を、意欲を込めて自分の言葉で発表していました。



さわやか相談室への支援・協力

教育相談担当者及びさわやか相談員等連絡会議

センター職員の相談室訪問

スクールソーシャルワーカーによる情報連携・行動連携